

〔ねらい〕

- 漢字、仮名交じり文を文字の大きさや接筆に気をつけて書く。
- とめ、はね、はらい、むすびに気をつけて書く。
- 中心に気をつけて書く。

〔指導のポイント〕

「キ」… 一・二画目の横画は、右上がりに平行に書きます。二画目の方を少し長めにする。三画目は、中心より少し右側からまっすぐ下ろし、最後は左下へすっとはらいます。

「ヤ」… マスの右上（縦書きの場合）に、他の文字の半分程度の大きさで書きます。小さくても形は「ヤ」と同じ。一画目は右上がり、二・三画目は左下へはらいますが、三画目を一番長くします。

「ン」… 一画目は上から下へ短く斜めに打つ。二画目は、左下から右上に向かってはらいます。

「プ」… 一画目は短く左下へはらいます。二画目は右上がりに進んでから角をしっかりと折って、左下へ長くはらいます。半濁点（マル）は、文字の右上に、大きすぎないように丸く書きます。

「の」… 始筆は中心線から。概形は、円をイメージして書きます。最後は右斜め上の方向にはらいます。

「よ」… 一筆目は、少し右下がりの短い横画。二筆目は、中心からまっすぐ下ろします。

「る」… 一筆目で書きます。右上がりに進んでから左下へ戻り、そこから大きく丸みを持たせて右下へ向かいます。上の部分よりも下の丸みを大きくし、最後は中心線の少し右側で、小さく丸く結んで止めます

「、」…位置を右上にしていねいに書きます。

「あ」…二筆目は中心から中心へ。3つの隙間の大きさの違いを意識しながら、大きく曲がります。

「ま」… 二画目と三画長さ・結び方（2回止まる）

「の」… 同じ

「川」… 三本の縦画の長さの間隔がポイント。一画目は左下へゆったりとはらいます。二画目は一番短くまっすぐ下ろす。三画目は一番長く、まっすぐ下ろしてはらいます。三本の線の間隔（隙間）が同じ広さに。

「を」… 一筆目は、やや右上がりの横画。二筆目は斜め左下へ進み、折り返して右へ向かってから丸みをつけて下げます。三筆目は、二筆目の終わりを包み込むように、左から右へ「C」の字を描くように大きく丸く書き、最後は止めます。

「見」… 上部の「目」は、縦画をまっすぐ下ろし、中の横画の間隔が等間隔になるようにする。下部の「儿」は、左側（六画目）は左下へすっとはらいます。右側（七画目）は、まっすぐ下ろしてから右へゆるやかに曲がり、最後は真上に向かって力強くはねます。

「ま」… 二画目と三画長さ・結び方（2回止まる）下の「結び」の部分は平たい三角形（魚）をイメージ。

「し」… 縦長の概形を意識して、始筆の位置を決めます。曲がりやゆっくり。斜め上へのはらいます。

「た」… 始筆の位置 二筆目を長く 三筆目の傾きと四筆目への筆脈三筆目と四筆目のつながりを意識。

「。」…位置を右上に正しくしていねいに書きます。丸める方向は、右回り。



